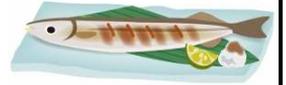


歴史に寄り添う  
まちづくり

# 伝建群だより

10月に入り、過ごしやすい季節になりました。  
昨年10月の台風第19号では、大雨により、桐生市でも山あいを中心に大きな被害が出ました。  
今年はまだ、大きな台風は来ておりませんが、油断できない状況です。新型コロナウイルスの感染予防も含めて、しっかりとした対策をしていきたいものです。



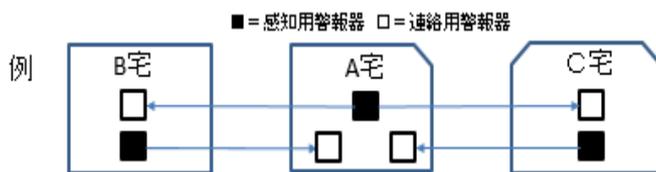
## 住宅用火災警報器の連動点検を行います

～ 火災の早期発見・早期通報のための警報器を見直しましょう ～

平成30年度に無線式住宅用火災警報器を設置してから、約2年半が過ぎようとしています。

このたび、火災警報器が正常に作動するかの確認をするために、日本遺産活用室の職員と町務員が各お宅を訪問し、一斉点検をさせていただきます。作業をする際には、新型コロナウイルスの感染予防として、マスク着用等の対策を行います。

皆様のご協力をお願いいたします。



点検期間 : **令和2年11月中旬～12月中旬(予定)**

実施日については、11月初旬に回覧又は每户配布にてお知らせいたします。

訪問した際にお留守の場合は、不在手紙を置かせていただき、後日訪問いたします。

点検方法 : 日本遺産活用室職員と町務員立会のもと、火災警報器(感知器)が正常に作動するか確認をいたします。

“正常です”の音声→終了(問題なし)

“異常です”の音声→テスト当日又は、後日に調整をいたします。

アンケート : 点検後に火災警報器に対して、簡単な聞き取りによる実態調査を行います。

アンケート結果については、後日、「伝建群だより」等でご報告をさせていただきます。

# 『予告』 保存修理事業見学会を開催します

この地区が重伝建地区に選定されてから、約8年が過ぎました。その間、様々な伝統的建造物が修理され、活用されています。また、平成27年度には、日本遺産『かかあ天下-ぐんまの絹物語-』の構成文化財の一つとして、重伝建地区が認定されています。

今年度修理している建物や、今までに修理された建物を、実際に見学して保存修理について、考えるきっかけづくりのために、開催する予定です。



対象者：特定物件(伝統的建造物)の所有者又は修理を検討している方  
見学地：現在調整中(過去に修理した建物、今年度修理している建物等)  
開催日：12月上旬を予定しています。詳しくは11月の「伝建群だより」にてお知らせいたします。

参加人数：最大20名程度。

その他：見学会当日の新型コロナウイルス感染予防対策として、参加者の皆様におかれましては、マスク着用及び手指の消毒をお願いいたします。

## 織都桐生の日本遺産を見つめて①



きゅうもはんこうじょうきりゅうねんしごうしがいしゃじむしょとう  
旧模範工場桐生撚糸合資会社事務所棟  
けんねんきねんかん  
(桐生市近代化遺産絹撚記念館)

明治35年12月1日、当時の農商務省の殖産興業施策によって、現在のJR桐生駅南口の一角に広大な工場が建設され、「桐生撚糸合資会社」が設立されました。

この建物は、大正6年に工場の敷地の一角に建設された事務所棟です。関東大震災以前の現存する洋風石造建造物は少なく、群馬県最古級のものと考えられます。平成6年には、市の指定文化財となっています。

また、社名にある撚糸とは、織物に加工する前の糸に「ヨリ」をかける工程であり、日本絹撚株式会社時代には、資本金60万円、敷地14,315坪と日本最大の撚糸工場に発展し、桐生織の隆盛を支えました。

現在、企画展「"ジュウデンケン"ってなに？」を開催中です(11月29日まで)。



～感性育み 未来織りなす  
絆なまち 桐生～

編集・発行  
桐生市産業経済部観光交流課日本遺産活用室  
電話 0277-46-1111(内線 346、347)  
令和2年10月1日発行 No.59